

伝統漁法「魚垣」復活へ 小浜島



魚垣を修復する宮里俊治さん＝21日、小浜島

全長500メートル 宮里俊治さん修復

【小浜島＝竹富】竹富町うに石垣を積み、干潮時に小浜島でかつて行われていた伝統漁法「魚垣」(方言名カスク)の復活に、宮里俊治さん(77)が取り組んでいる。

宮里さんは「完成したら天然の水族館になる。子どもたちの学習に生かしてほしい」と話している。

魚垣は潮の満ち引きを利した漁法。浅瀬を囲うように石垣を利用されている。石垣に利用されている石はサンゴ礁のごつごつした石ではなく、四角く切り出されたような「クビリ石」が使われている。クビリ石も手作業で重い石を積み、魚垣を修復。今月中には完成する予定という。

宮里さんは「完成したら天然の水族館になる。子どもたちの学習に生かしてほしい」と話している。

魚垣は潮の満ち引きを利した漁法。浅瀬を囲うように石垣を利用されている。石垣に利用されている石はサンゴ礁のごつごつした石ではなく、四角く切り出されたような「クビリ石」が使われている。クビリ石も手作業で重い石を積み、魚垣を修復。今月中には完成する予定という。

分かっておらず、小浜の魚垣の由来には謎も多い。宮里さんは先祖代々受け継いできた全長約500メートルの魚垣を所有。干潮時の2、3時間を利用し、海中で崩れた石垣を一つずつ積み直している。

(2012年5月26日 23面)

☆伝統漁法「魚垣」とはどのようにして魚を捕る方法でしょうか？

☆魚垣に使われている石垣の特徴をあげてみよう。

年 組 名前